

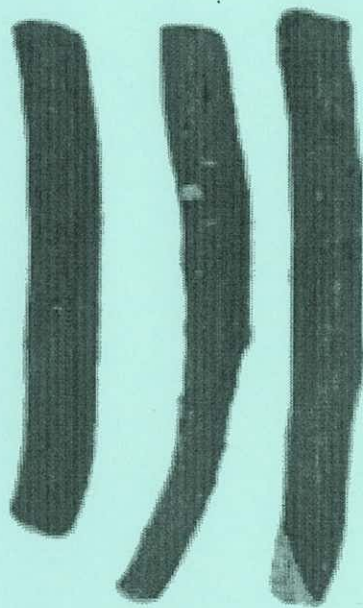
DI NEWS

今月の医薬品情報

令和2年6月10日 No.346

目次

- ◆ 薬剤部からのお知らせ . . . 1
- ◆ 今号の話題 医薬品相互作用を確認できるウェブサイト . . . 14
- ◆ 薬剤部への問合せから . . . 20



シャクヤクの花と根（芍薬の基原植物、株式会社ツムラ web サイトより）

米沢市立病院 薬剤部 薬品情報管理室（内線：2163）

薬剤部からのお知らせ

「DSU」、「医薬品・医療機器等安全性情報」を院内 LAN の Aipo で配信しています。ご一読お願い致します。（下記の手順で読めます）

- ①Aipo にログイン。
- ②Aipo ウィンドウの上部のコマンド並びの左端にある Aipo のマークをクリック。Aipo ウィンドウ中表示される複数のボックスから、ボックス左上辺に“フォルダ”と書かれているものを探す。
- ③後で元の状態に戻せるように右側のグループ名と左側のフォルダ名をメモ（省略可）。
- ④グループ名かフォルダ名をクリック。
- ⑤グループ名の下側から「すべてのグループ」をクリック。
- ⑥フォルダ名の下側から「薬剤部」をクリック。
- ⑦いま作業しているボックスの左上辺部に表示されている“フォルダ” と書かれている文字をクリック。
- ⑧文書のリストが表示されるので、読みたい文書の pdb ファイルをクリック。 以上。

◇ 外来・入院薬剤鑑別件数

	外来	入院予約	入院
2020年04月	1ヶ月合計：7件	1ヶ月合計：76件	1ヶ月合計：257件

◇ 入院患者薬剤管理指導請求件数

	薬剤管理指導請求件数	退院指導請求件数
2020年04月	655件	230件

◇ 注射薬無菌調製件数・抗がん剤調製件数（外来・入院）・膀胱調製件数

	無菌調製	抗がん剤調製（外来）	抗がん剤調製（入院）	膀胱（泌尿科）
2020年04月	0件	54件	14件	1件

外来指導：2020年04月8件

※中心静脈栄養輸液等の投与においてワンバック製剤以外の混注の必要があるものは、薬剤部において無菌調製しています。なお、オーダーは前日午前中までをお願いします。

◇ 在庫なし

下記の薬品は只今院内には在庫がなく、要時購入となっています。

必要な場合は、早めにご連絡ください。

< 内用薬 >

イトリゾールカプセル クリキシバンカプセル 200mg
カバサル錠 0.25mg メスチノン錠 60mg
ゼフィックス錠 100 ゾーミック RM 錠 2.5mg
トレドミン錠 15mg トレドミン錠 25mg テビケイ錠 50mg
ペルマックス錠 250µg メタルカプターゼカプセル 100mg
ユーエフティ配合カプセル アナフラニール錠 10mg レキップ CR 錠 2mg
ラジレス錠 150mg マイスタン錠 10mg ルジオミール錠 25mg
レグテクト錠 333mg

< 外用薬 >

イムシスト膀胱注用 81mg オキナゾール膈錠 600mg ダラシン T ゲル 1%
イムノブラダー膀胱注用 80mg 溶解液付 プリビナ液 0.05%
スコピゾル眼科用液 ニコチネル TTS10 ニコチネル TTS20
ニコチネル TTS30 ネオシネジンコーワ 5%点眼液
サイプレジン 1%点眼液 ネリゾナソリューション 0.1%

< 注射薬 >

動注用アイエーコール 50mg アキネトン注射液 5mg
アルギニン点滴静注 300ml「AY」 ウロミテキサン注 400mg
HCGモチダ筋注用 5千単位 エトキシスクレロール 1%注射液
エポシン皮下注シリンジ 24000 ジェノトロピン TC 注用 5.3mg
スプレキュア MP 皮下注用 1.8 スミフェロン注 DS 300万 IU
ゾラデックス 1.8mg デポ ゾラデックス 3.6mg デポ
ゾラデックス LA10.8mg デポ ナベルピン注 10 ナベルピン注 40
ピシバニール注射用 0.2KE ピシバニール注射用 0.5KE
ヒトCRH静注用 100µg「㏸ハ」 ヒトPTH注 100 国際単位
ボトックス注用 50 単位 ポリドカスクレロール 0.5%注 2mL
ポリドカスクレロール 1%注 2mL ポリドカスクレロール 3%注 2mL
ミリプラ動注用 70mg エトポシド注 100mg LH-RH注 0.1mg「㏸ハ」
コートロシン注射用 0.25mg ゴナピュール注用 150
ブレオ注射用 15mg デノシン

< 検査用造影剤 >

EOB・プリモビスト注シリンジ EOB・プリモビスト注シリンジ

イソビスト注240 イソビスト注300 ネオダルムゾル
 マグネスコープ静注 38%シリンジ 13mL バリコンミール バリトップHD
 マグネスコープ静注 38%シリンジ 20mL ボースデル内用液 10

< ワクチン・抗毒素・トキシイド >

沈降精製百日咳ジフテリア破傷風混合ワクチン（三種混合）

乾燥弱毒生麻しんワクチン

< 防疫剤 >

塩化ベンザルコニウム液 10%

クレゾール石鹼（ポリ）日興

テゴー51 消毒液 10%500mL

* 上記薬品の他に、院外でのみ処方可能な採用薬も院内には在庫がない。

* 注射用メソトレキセート50mg、ランマーク皮下注120mg、トブラシン注60mg、ゾラデックスLA10.8mg デポ、は要時購入だが、希望多いので実際は在庫があることが多い。

◇ 採用薬に関する情報

<添付文書改訂>

<p>ヒューマリンR注100単位/mL、 ヒューマリンN注100単位/ml、 ヒューマリン 3/7 注 100 単位 /ml、 ヒューマログ注ミリオペン、 ヒューマログミックス25注ミリオペン、 インスリンラルギンBS注ミリオペン「リリー」、 インスリンラルギンBS注ミリオペン「リリー」</p>	<p>（2020年05月）「重要な基本的注意」に、「同一カ所への繰り返し投与により注射箇所皮膚アミロイドーシス又はリポジストロフィーが現れることがあるので、注射箇所を観察する。注射箇所は前回の注射箇所から2～3cm離すよう指導。注射箇所腫瘍や硬結がある場合は当該箇所への投与を避けるように指導。皮膚アミロイドーシス又はリポジストロフィーが現れた箇所に注射した場合は血糖コントロールが不十分になることがある。腫瘍や硬結があるところから注射箇所を変えると、いままで正常に効いていないため過度に増量されていたインスリン製剤が正常に効くようになり低血糖になった例があるので、注射箇所の変更とともに投与量の調製等の適切な処置を行うこと。」との内容を追記。</p>
<p>トレシーバ注フレックスタッチ、 ノボリンR注フレックスペン、 ノボリン 30R注フレックスペ</p>	<p>（2020年05月）「重要な基本的注意」に、「同一カ所への繰り返し投与により注射箇所皮膚アミロイドーシス又はリポジストロフィーが現れることがあるので、注射箇所を</p>

<p>ン、 レベミル注フレックスペン、 ノボラピット注フレックスペン、 トレシーバ注フレックスタッチ、 ノボリンR注フレックスペン、 ノボリン 30R注フレックスペン、 レベミル注フレックスペン、 ノボラピット注フレックスペン</p>	<p>観察する。注射箇所は前回の注射箇所から 2～3cm 離すよう指導。注射箇所に腫瘤や硬結がある場合は当該箇所への投与を避けるように指導。皮膚アミロイドーシス又はリポジストロフィーが現れた箇所に注射した場合は血糖コントロールが不十分になることがある。腫瘤や硬結があるところから注射箇所を変えると、いままで正常に効いていないため過度に増量されていたインスリン製剤が正常に効くようになり低血糖になった例があるので、注射箇所の変更とともに投与量の調製等の適切な処置を行うこと。」との内容を追記。</p>
<p>トレシーバ注フレックスタッチ、 ノボラピット注フレックスペン、 レベミル注フレックスペン、 ノボリンR注フレックスペン、 ノボリン 30R注フレックスペン</p>	<p>(2020年05月)「重要な基本的注意」に「本剤と他のインスリン製剤を取り違えないよう、毎回注射する前にラベル等を確認するよう患者に十分指導すること」と追記。</p>
<p>トレシーバ注フレックスタッチ、 ノボラピット注フレックスペン、 レベミル注フレックスペン</p>	<p>(2020年05月)「取扱い上の注意改訂」に「使用中は室温にキャップ等により遮光して保管」「冷蔵庫保管も可能であるが凍結を避けること」を追記</p>
<p>ノボリンR注フレックスペン、 ノボリン 30R注フレックスペン、 ノボリンR注フレックスペン、 ノボリン 30R注フレックスペン</p>	<p>(2020年05月)「運用上の注意改訂」に「使用中は冷蔵庫に入れず、キャップ等により遮光して室温に保管」の文の「キャップ等により遮光して」の部分を追記。</p>
<p>トレシーバ注フレックスタッチ、 レベミル注フレックスペン、 ノボラピット注フレックスペン、 ノボリンR注フレックスペン、 ノボリン 30R注フレックスペン</p>	<p>(2020年05月)「併用注意」に「SGLT2 阻害薬を」追加</p>
<p>プラザキサカプセル 75mg、110mg</p>	<p>(2020年05月)「併用注意」のP-糖卵蛋白阻害剤の区分にグレカプレビル水和物・ピブレンタスビル配合剤(販売名マヴィレット配合錠)を追加。「その他の副作用」に好中球減少症と脱毛症を追加。「その他の注意」に「本剤の同系統薬(リバーロキサバン)に関する海外の臨床試験において、抗リン脂質抗体症候群患者の血栓性イベントの再発が認められたことを注意喚起。</p>

スルピリド錠 50mg 「サリ」	(2020年03月)「慎重投与」の項で、変更前は「(5)パーキンソン病の患者」とあったところ、変更後は「(5)パーキンソン病又はレビー小体型認知症の患者」となった。
フェソロデックス筋注 250mg	(2020年04月) 妊婦、産婦、授乳婦等への投与の項に、「妊娠する可能性のある女性には、本剤投与中及び最終投与後一定期間は、適切な避妊を行うよう指導すること」と追記。
	(2020年05月)「重大な副作用」の項に「注射部位の壊死、潰瘍」を追記。

<使用上の注意改訂>

フェントステープ 0.5mg、1mg、2mg、4mg、6mg、8mg	(2020年04月)「禁忌」に、「ナルメフェン塩酸塩水和物(飲酒量低減薬)を投与中の患者又は投与中止後1週間以内の患者」を追加。μオピオイド受容体拮抗により、フェンタニルが競合的阻害を受ける。
アブストラル舌下錠 100μg	(2020年04月)「禁忌」に、「ナルメフェン塩酸塩水和物(飲酒量低減薬)を投与中の患者又は投与中止後1週間以内の患者」を追加。μオピオイド受容体拮抗により、アブストラル舌下錠が競合的阻害を受ける。
シンバスタチン錠 5mg 「SW」	(2020年03月) 併用禁忌にポサコナゾール(ノクサフィル)追加。ポサコナゾールがCYP3A4阻害するため、シンバスタチンの代謝が抑制され、シンバスタチンの副作用(急速な腎機能悪化を伴う横紋筋融解症)が出やすくなるため。
レボスパ静注用 200mg	(2020年05月)「併用禁忌」に、「ジノプロストン(プロウペス腫用剤)」を追加。同時併用すると過強陣痛を起こす恐れがある。ジノプロストン投与終了後にレボスパを使用する場合、1時間以上の間隔をあけ、慎重に使用。
エフピーOD錠 2.5	(2020年06月)「併用禁忌」に「セロトニン再取り込み阻害・セロトニン受容体調節剤 ボルチオキセチン臭化水素酸塩(販売名トリンテリックス)」追加。セロトニン症候群の発現可能性が否定できないため。 「薬剤交付時」に「本剤の目的以外の使用あるいは他人への譲渡をしないよう指導すること」および「本剤が不要となった際に病院。薬局等に返却する場合の処置について指

	<p>導すること」と追記。これらは患者が服用する必要がなくなった場合に病院・薬局等へ返済することが可能になったために追記された。</p> <p>「取扱い上の注意」から「患者（または看護にあたるもの）は第三者に本剤を譲り渡すことを禁じられている」との記載を削除。これは患者が服用する必要がなくなった場合に病院・薬局等へ返済することが可能になったために削除された。</p>
クロピドグレル錠 75mg 「SANIK」	<p>（2020年06月）セレキシパグを併用禁忌から併用注意（併用する場合はセレキシパグの減量を考慮すること）に変更。医薬品医療機器総合機構による薬物相互作用試験の結果を受けての変更。</p>
ジスロマック錠 250mg、 ジスロマック細粒小児用 10%、 ジスロマックSR成人用ドライシロップ 2g ジスロマック点滴静注用 500mg	<p>（2020年05月）「併用注意」にベネトクラクス（ベネクレクタ錠、慢性リンパ性白血病薬）を追加。機序不明だがベネトクラクスの血中濃度が低下する可能性がある。</p>
ドグマチール細粒 10%	<p>（2020年03月）「慎重投与」改訂前は、「パーキンソン病の患者[錐体外路症状が悪化するおそれがある]」とあったところ、改訂後は「特定の背景を有する患者に関する注意、パーキンソン病又はレビー小体型認知症の患者 錐体外路症状が悪化するおそれがある。」となった。</p>
アトルバスタチンOD錠 10mg 「トーフ」	<p>（2020年05月）「相互作用」の項に、本剤は主にCYP3A4により代謝され、P-糖蛋白質、乳癌耐性蛋白、有機アニオントランスポータの基質であることを明記。併用する薬がこれらのタンパク質を阻害することでアトルバスタチンの血中濃度が上昇するため併用禁忌や併用注意になっている場合、その旨を記載した。また、併用注意にHIVプロテアーゼ阻害薬の代表的薬剤としてロピナビル・リトナビル（販売名カレトラ）を追記。</p>
カデュエット配合剤 3番、 4番 (アムロジピン/アトルバスタチン)	<p>（2020年05月）「相互作用」の項に本剤の成分の1つであるアトルバスタチンは、有機アニオントランスポータ、P-糖蛋白質、乳癌耐性蛋白の基質であることを明記。併用する薬がこれらのタンパク質を阻害することでアトルバスタチンの血中濃度が上昇するため併用禁忌や併用注意にな</p>

	っている場合、その旨を記載した。また、併用注意に HIV プロテアーゼ阻害薬の代表的薬剤としてロピナビル・リトナビル（販売名カレトラ）を追記。
ソル・コーテフ注射用 100mg	（2020 年 04 月）「重要な基本的注意」に本剤を急性副腎皮質機能不全にたいして自己注射する場合の実施要件、患者への指導内容等を追記。
フィルグラスチム B S 注 75µg シリンジ「NK」	（2020 年 05 月）「重要な基本的注意」に今までも「過剰な作用に伴い脾破裂が発現する可能性がある」旨が記載されていたが、その記載内容が「本剤投与により脾腫、脾破裂が発現することがある」との記述に変更された。
ベラチンドライシロップ小児用 0.1%	（2020 年 05 月）「重要な基本的注意」で従来は気管支喘息の治療に関して注意喚起されていた内容を、気管支喘息だけでなく、慢性気管支炎及び肺気腫の治療を含む注意喚起とした。
ボノテオ錠 50mg	（2020 年 05 月）添付文書の「その他の注意」に「男性患者に対する使用経験は少ない」と書かれていたが、その文を削除。
アストリックドライシロップ 80%	（2020 年 04 月）重大な副作用に従来は「急性腎障害」とあったところ、新たに「急性腎障害、尿細管間質性腎炎」と追記。
アシクロビル DS80%「NK」	（2020 年 04 月）「重大な副作用」に改訂前は「急性腎障害」とあったところ、改定後は「急性腎障害、尿細管間質性腎炎」と記載。
アメナリーフ錠 200mg	（2020 年 04 月）「重大な副作用、多形紅斑」を追記。因果関係が否定できない重篤な多形紅斑の報告あり。
アシクロビル点滴静注用 250mg「PP」	（2020 年 04 月）重大な副作用に改訂前は「急性腎不全」とあったところ、改訂後は「急性腎障害、尿細管間質性腎炎」となった。
ゾフルーザ錠 10mg、20mg	（2020 年 04 月）「重大な副作用」に「虚血性大腸炎」を追記
アコファイド錠 100mg	（2020 年 05 月）「その他の副作用」に腹痛を追記。
ロゼレム錠 8mg	（2020 年 05 月）「その他の副作用」に自殺企画を追記。

ジェノトロピン TC 注用 5.3mg	(2020年05月)「その他の副作用」に「顔面浮腫」を追記。
サラゾピリン錠 500mg	(2020年05月)「臨床検査結果に及ぼす影響」として「本剤投与中の患者では、ALT、AST、CK-MB、GLDH、血中アンモニア、血中チロキシン及び血中グルコース等の測定値が見かけ上増加又は減少することがあるため、これらの検査結果の解釈は慎重に行うこと」と追記。本剤やその代謝物が 340nm 付近の紫外線吸光度測定に干渉する可能性があるため

<風味変更>

アミノレバン EN 配合散 フルーツ味、コーヒー味	(2020年03月)甘味剤(スクラロース)を減らした。従来品は甘すぎるとの苦情があったため。なお、薬の効能、効果、カロリーは従来と変わらない。
------------------------------	---

<販売終了>

カリクレイン錠 10 単位	(2020年01月)バイエル社在庫なくなり次第終了。代替候補品目はカルナクリン錠やカリジノゲナーゼ錠
ペンニードル 30G8mm	(2020年05月)2020年9月ごろメーカー在庫なくなり次第販売終了。

<出荷制限>

ロクロニウム臭化物静注液 25mg/2.5ml、50mg/5ml	(2020年05月)詳細は13ページ参照。
リュープリン SR 注射用キット 11.25、 リュープリン PRO 注射用キット 22.5	(2020年05月)本製品を製造する光工場で作業手順書と製造実態が異なっていた事への対応で製造に遅れが発生。当面流通量が低い水準となる見込み。代替候補薬は1か月製剤の「リュープロレリン酢酸塩注射用キット 3.75mg」など。
アデホスコーワ顆粒 10%、 アデホスコーワ腸溶錠 20	(2020年06月)原薬不足による生産量減少のため6月1日から出荷制限。原薬の製造メーカーである協和発酵バイオ株式会社が半年前に業務改善命令を受けた影響。当院に関して、顆粒 10%は8月までは購入実績分は入荷する見込みだが、9月以降は未確定。

フラビタン錠 5mg	(2020年06月) 原薬不足で十分な生産量を確保できないため出荷制限。原薬の製造メーカーである協和発酵バイオ株式会社が半年前に業務改善命令を受けた影響。当院に関しては、8月までは購入実績分は入荷する見込みだが、9月以降は未確定。
ネリゾナソリューション 0.1%	(2020年06月) 供給遅延の発生による出荷制限継続中。
ロミプレート皮下注 250 μ g 調製用	(2020年06月) 想定を上回る需要増加のため2020年6月より出荷調整。解除は2022年以降の見込み。メーカーは「可能な限り新規患者への処方を抑えることや、代替医薬品や代替療法の検討をお願いしていく」とのこと。
ベオーバ錠 50mg	(2020年06月) 販売予測を大幅に上回る注文が発生していることにより、2020年4月から出荷調整。現在も継続中で解消の見込みはまだ立っていない。メーカーは「既存の患者様へ優先的に供給している状況。新たな患者様の分を確保するのは困難な状況」とのこと。
ビスコート0.5 眼粘弾剤	(2020年06月) 日本への入荷遅れのため、2020年6月8日から8月中旬頃まで出荷調整実施。代替薬はシエルガン0.5 眼粘弾剤。

<出荷制限の解除>

ネリゾナクリーム 0.1%、 ネリプロクト坐剤、 ネリゾナ軟膏 0.1%	(2020年06月) 出荷状況が安定したため2020年6月3日に出荷制限を解除。
--	--

<追加承認>

アイリーア硝子体内注射液	(2020年03月) 効能・効果に、「血管新生緑内障」追加。
ヒュミラ皮下注 40mg ペン 0.4mL	(2020年05月) 「用法および用量」で「初回投与4週間後以降は40mgを毎週1回皮下注射」だったが、追加承認により、「初回投与4週間後以降は40mgを毎週1回又は80mgを2週間に1回、皮下注射」となった。

献血グロベニン－I 静注用 5000mg	(2020年06月) 効能・効果に、「血清 IgG2 の低下を伴う、肺炎球菌又はインフルエンザ菌を起因菌とする急性中耳炎、急性気管支炎又は肺炎の発症予防（ワクチンによる予防及び他の適切な治療を行っても十分な効果が得られず、発症を繰り返す場合に限る）」を追加。
-------------------------	---

<保険適用追加>

シンポニー皮下注50mg オートインジェクター	(2020年04月) 2020年4月1日より、潰瘍性大腸炎に対する自己注射が公的医療保険の保険適用となった。
----------------------------	--

<規格変更>

アドリアシン注用10	(2020年05月) 2020年6月中のメーカー出荷品から、バイアル内圧を常圧から陰圧に変更。調整時の暴露対策のため。
------------	---

<販売名変更>

アストリックドライシロップ80%	(2020年03月) アシクロビル DS80%「NK」に変更
------------------	--------------------------------

<包装変更>

ハラヴェン静注1mg	(2020年04月) 個装箱の明け口形状を変更。また、バイアルの破損防止のためバイアル形状等を変更。
カナグル錠100mg	(2020年04月) 2020年5月上旬のメーカー出荷分より PTP シートのサイズが若干小さくなる。変更前は 35×91mm だったものが変更後は 34×89mm になる。また、PTP シート裏面の表示が見易いデザインになる。
乾燥BCGワクチン	(2020年04月) 母子健康手帳等に貼付するためのロット番号ラベルに有効期限も記載するようになった。2020年5月下旬のメーカー出荷品より変更。
ロタリックス内用液	(2020年05月) 2020年6月中のメーカー出荷品より、チューブラベルやカートンの製造販売元等の表示変更。メーカーにおける従来品の在庫終了のため。

<適正使用のお願い>

*** 医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読みください。***

—ラミクタール錠の適正使用のお願い— ～用法・用量の遵守と皮膚障害の早期対応について～

2020年3月

グラクソ・スミスクライン株式会社

ラミクタール錠の投与により重篤な皮膚障害があらわれることがあり、2015年2月に安全性速報（ブルーレター）を発行し、添付文書の「使用上の注意」の改訂を実施しました。安全性速報（ブルーレター）の発行以降、重篤な皮膚障害を発現した症例の報告数は減少傾向にあるものの、用法・用量の不遵守症例及び皮膚障害の治療開始までに時間を要した症例は依然として報告されております。

つきましては、本剤の投与に際しましては、以下の通り適正使用の徹底をお願いします。

2、3ページ目に症例概要、4ページ目に医療従事者・患者向け資材に関する記載がございますのでご一読ください。

✓ 用法・用量を遵守してください

- 併用薬により用法・用量が異なります。
- 一定の期間をかけて増量する必要があります。
- 本剤の投与中止後に再開する必要がある場合は、開始量に注意してください。いかなる理由で投与を中止した患者においても、再開時は維持用量より低い用量からの漸増が必要です。

※医療従事者用資材（使用の手引き（4ページ参考））にも分かりやすく纏めております。

✓ 皮膚障害が発現した場合、ただちに投与を中止し、皮膚科専門医に相談してください

重篤な皮膚障害の初期症状としては、以下のものがあります。

- 発疹
- 目の充血
- 咽頭痛
- 口唇・口腔内のただれ
- 発熱（38℃以上）
- 全身倦怠感
- リンパ節腫脹

✓ 患者さんへ重篤な皮膚障害についての服薬指導を行ってください

- 重篤な皮膚障害などの副作用が出る場合があること。
- 皮膚障害の初期症状が出たらすぐに受診すること。
- 用法・用量を守ること。

※患者さん用資材を用意しております（4ページ参考）。

1

*** 医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読みください。***

バラシクロビル塩酸塩の中毒性脳症・ 高齢者への慎重投与について

2020年3月

グラクソ・スミスクライン株式会社

バラシクロビル塩酸塩は、販売開始以降、腎障害のある患者又は腎機能の低下している患者、高齢者への投与に際し本剤の用法・用量が調整されず、腎機能障害及びアシクロビル脳症や意識障害等の重篤な精神神経系の副作用が認められた症例が継続して報告されています。つきましては、下記の事項を再度ご確認ください、本剤投与にあたっては、十分にご留意ください。

◎高齢者では、腎機能が低下していることが多いです。投与量の減量及び投与間隔を延長するなど慎重に投与してください。

- ・中毒性脳症報告例の多くは3000mg/日分3投与例でした
- ・投与前に腎機能を測定・確認し、腎機能障害や透析の有無などを十分に確認してください

◎患者さん・ご家族へ重篤な精神神経系の副作用について服薬指導を行ってください。

- ・初期症状が出たらすぐに受診すること
- ・脱水を予防するために適切に水分補給を行うこと

<症状>

構音障害、脱力、振戦、興奮、幻視、幻聴、錯乱、昏迷、傾眠、昏睡等

<出荷制限>

ロクロニウム臭化物静注液の供給に関するお知らせ

2020年5月

医療関係者 各位

東京都千代田区三番町5番地7
富士製薬工業株式会社

ロクロニウム臭化物静注液 25mg/2.5mL「F」、50mg/5.0mL「F」のご注文について

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、世界的な COVID-19 の流行により当該原薬の確保に支障が生じていることを受け、当該製品を以前よりご採用頂いております医療機関様への安定供給を確保するため、出荷を調整させて頂くこととなりましたのでお知らせ申し上げます。

つきましては、誠に恐縮ではございますが、出荷調整期間中は従来のご使用量を超えるご注文につきましてはお控え頂けますようお願い申し上げます。

制限解除時期につきましては、状況が好転次第速やかにご連絡申し上げます。

今回の出荷調整により、ご関係者様に多大なご心配並びにご迷惑をおかけ致します事、深くお詫び申し上げます。誠に勝手なお願いながら、何とぞ諸事情ご賢察の上、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

謹白

■対象品目

品名	包装	統一商品コード
ロクロニウム臭化物静注液 25mg/2.5mL「F」	10 瓶	431291466
ロクロニウム臭化物静注液 50mg/5.0mL「F」	10 瓶	431291473

【本件に関するお問い合わせ先】

富士製薬工業株式会社 学術情報課

(TEL) 076-478-0032

受付時間 9:00 ~ 17:00 (土、日、祝日を除く)

以上

今号の話題

医薬品相互作用を確認できるウェブサイト

<はじめに>

医薬品の相互作用は様々な場面でよく話題になります。この相互作用の確認は基本的に2つの医薬品間で問題ないかどうかを確認します。患者さんがAとBとCの3剤を服用している場合、相互作用が問題ないかどうかを確認するには、AとBの相互作用、BとCの相互作用、CとAの相互作用という3通りの組み合わせがそれぞれ問題ないかどうかを確認します。すべて問題なければOKとなります。もし患者さんが服用しているのがA、B、C、Dの4剤だったら、AとB、AとC、AとD、BとC、BとD、CとD、の6通り組み合わせをすべて確認します。患者さんが服用している医薬品が3剤で3通りの組み合わせを確認するなら添付文書や文献を読んで確認することも現実的ですが、4剤服用で6通りの組み合わせを人手だけで確認するのはかなり大変な作業になります。そこで、パソコンを利用して全体的に相互作用を確認し、その結果を人間が添付文書で再確認すればかなり手間が省けます。今日、インターネットが利用できるなら、誰でもどんなパソコンでもウェブサイトを利用することで事前準備なしに相互作用を調べることができます。以下でその方法を記載します。なお、これらのウェブサイトのサービスは学術機関や企業によって無償で提供されており、万が一間違った結果が出て、それにより問題が発生したとしても、ウェブサイトを使った人の責任となりますのでご注意ください。

<ウェブサイトについて>

医薬品の相互作用をチェックするウェブサイトとして、無料で会員登録等がなくすぐ使えるものとして、KEGGの「医薬品相互作用チェック」やQLifeProの「相互作用」のページがあります。

KEGGは京都大学化学研究所の事業で"京都遺伝子ゲノム百科事典"の意味の英語の頭文字が名前の由来です。生物情報学用の様々な情報が提供されており、その中に医薬品の相互作用の情報もあります。

QLifeProは株式会社QLifeが医療従事者向けに、様々な情報やツールを提供してるサイトです。QLife社は医療情報専門サイトm3.com等を運営するエムスリー株式会社の完全子会社です。

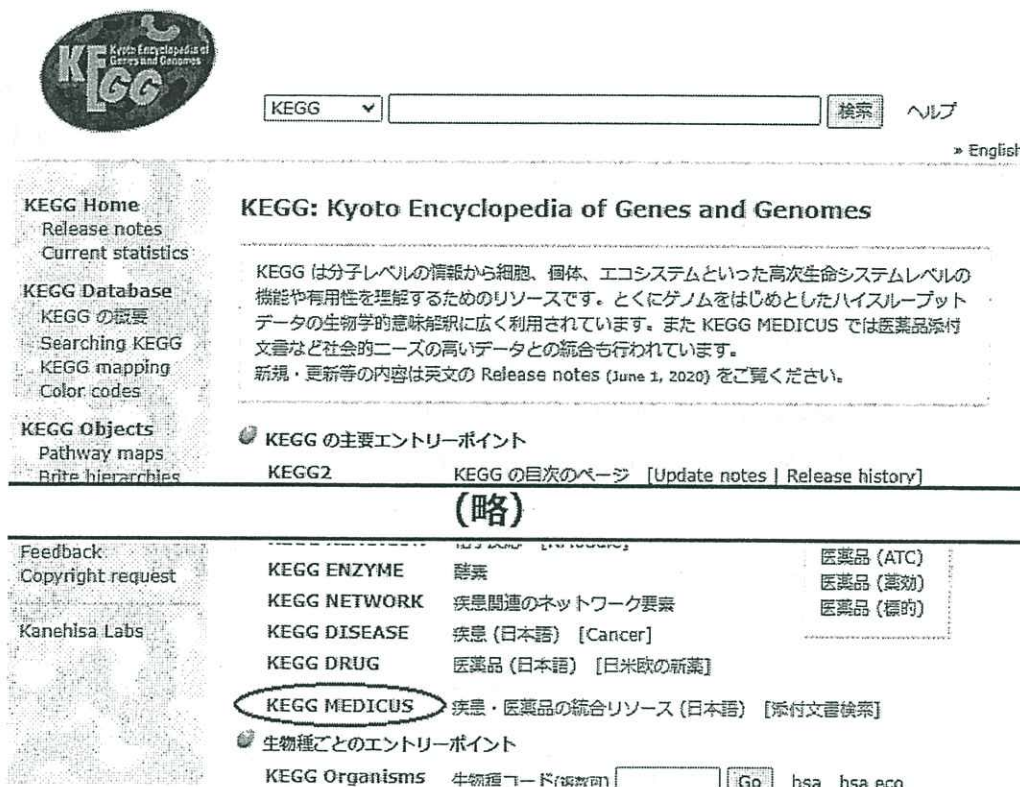
<医薬品相互作用を確認するための準備>

- ・必要な装置 インターネットに接続できるパソコン
- ・必要な情報 医薬品の名称（複数服用している場合はすべての医薬品の名称）

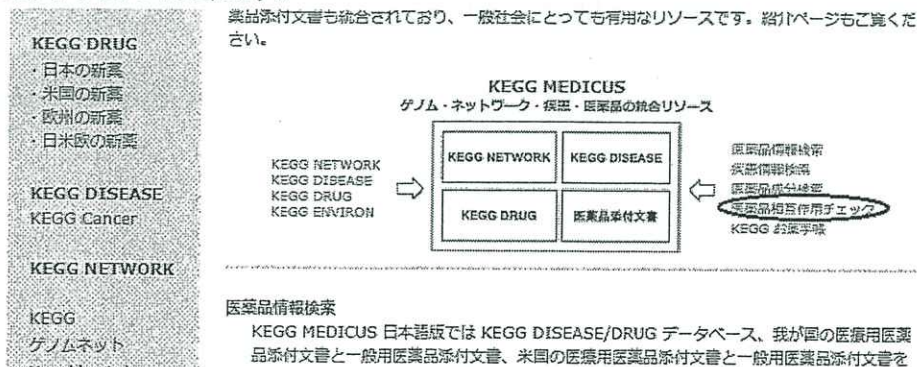
<KEGGの「医薬品相互作用チェック」の使い方>

(1) まず KEGG のホームページ https://www.kegg.jp/kegg/kegg_ja.html に行きます。もし英語で表示されていたらページの右上の「>Japanese」の文字をクリックして日本語表記にします。

(2) KEGG のホームページのやや下側にある「KEGG MEDICUS」の文字をクリックします（下図の丸で囲った部分）。



(3) 表示されたページの図の右側にある「医薬品相互作用チェック」の文字をクリックします（下図の丸で囲った部分）。



(4) これで、相互作用チェックの作業ができるページが表示されました（下図）。



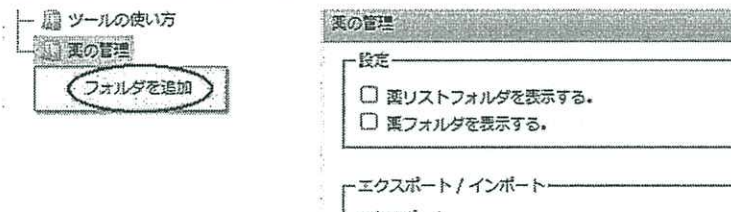
ここから医薬品の名前を入力する作業を行います。医薬品の名前を入力するには薬リストを作り、そこに入力します。その薬リストは、自分で好きな名前を付けることのできるフォルダの中に入っています。

初めてこのサイトを使う場合は、フォルダも薬リストもないので、最初に適当な名前のフォルダを作り、その中に適当な名前の薬リストを作り、そこに医薬品名を入力するという手順になります。

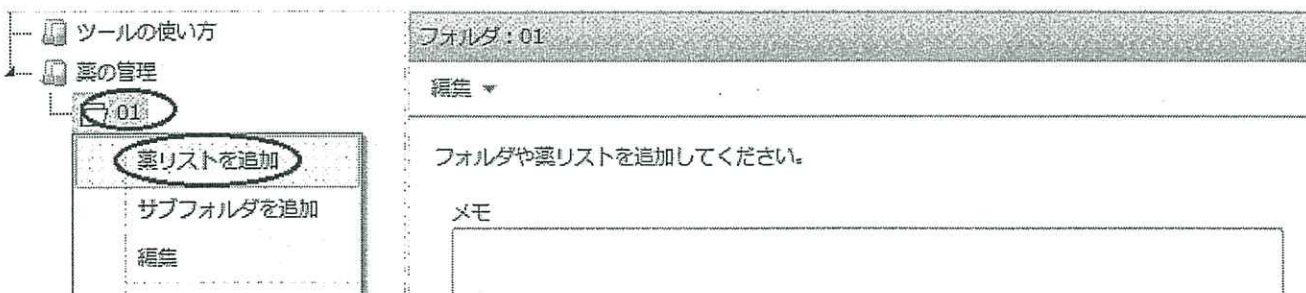
急いでいるときなどは「いちいち薬リストなど作らず、さっさと医薬品名だけ入力して相互作用チェックの結果を表示してほしい」と思いますが、薬リストに入力した内容は次回以降も繰り返し使えるなど便利です。まずは手順通りフォルダと薬リストを作ります。

①フォルダは「薬の管理」フォルダの下に作ります。そのために、ウェブページの左側にある「薬の管理」の文字（上図丸で囲った部分）を右クリックします。通常のクリックはマウスの左ボタンを押しますが、右クリックの場合はマウスの右ボタンを押します。

②下図の丸で囲った部分のように、「フォルダを追加」というボタンが現れます。このボタンをクリックすると「フォルダの名前を入力してください」というボックスが表示されるので、入力欄に適当なフォルダ名を入力します。ここでは例として「01」と入力し、入力欄の下にある「作成」と書いてあるボタンを押します。まず、これでフォルダができました。



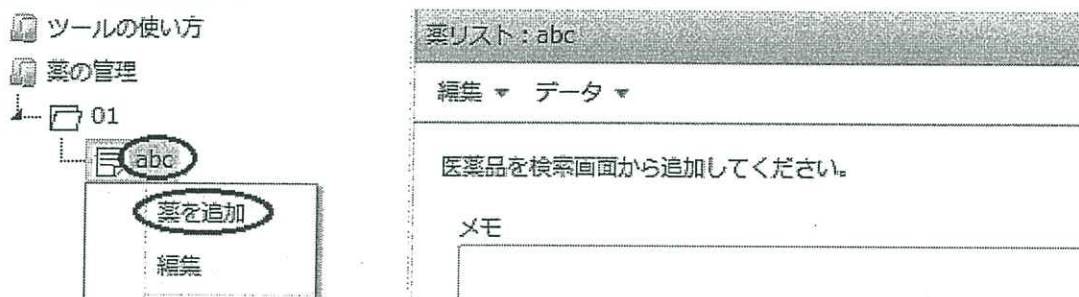
③フォルダ「01」は自動的に表示されるので、次にこの「01」の中に薬リストを作ります。それには「01」（下図丸で囲った部分、上にある方）を右クリックし、現れたボックスの中の「薬リストを追加」（下図丸で囲った部分、下にある方）をクリックします



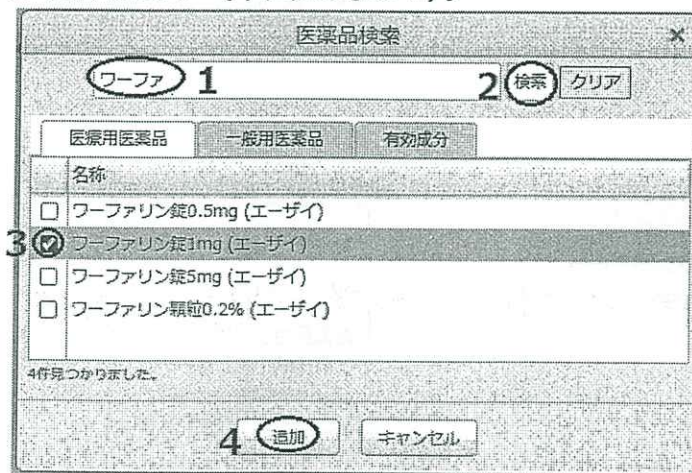
(1回目の右クリックでは「薬リストを追加」がうまく表示されなかった場合は、もう一回右クリックします)。すると「薬リストの名前を入力してください」というボックスが表示されるので、適当な名前を入力します。ここでは例として「abc」と入力し「作成」と書いてあるボタンを押します。これで薬リストもできました。

④これから薬リスト「abc」に薬を入力していきます。患者さんは、ワーファリン錠1mg、バイアスピリン錠、センノシド錠12mg、フロリードゲル経口用2%を服用しているものとして。

まずワーファリン錠1mgを入力します。それには「abc」を右クリックし(下図丸で囲った部分、上にある方)、現れたボックスの中の「薬を追加」をクリックします(下図丸で囲った部分、下にある方)。



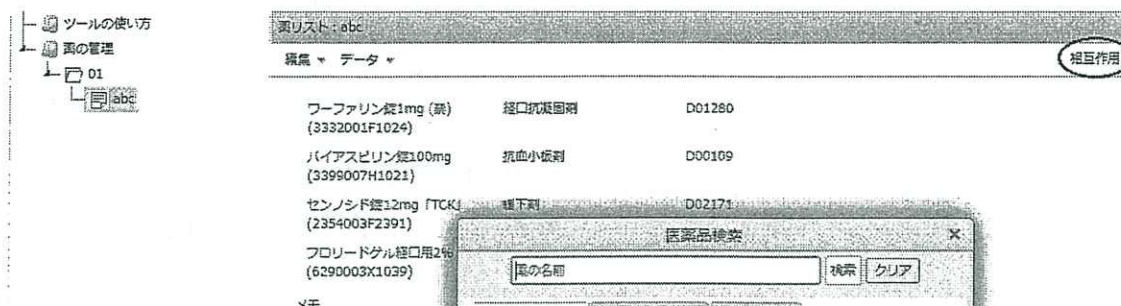
すると下図の様な「医薬品検索」ボックスが表示されるので、まず薬の名前の最初の3~4文字(下図の丸の1)を入力し、検索ボタン(下図の丸の2)を押します。候補となる医薬品名が表示されるので、目的の医薬品名のチェックボックスにチェックを入れ(下図の丸の3)、最後に追加ボタンを押します(下図の丸の4)。



この時、間違って医薬品の名前の部分をクリックすると、新しいタブが開いて添付文書情報が表示されるので、そのような場合は元のタブに戻るだけでOKです。

⑤あとは④と同様に「abc」を右クリックし、現れたボックスから「薬を追加」をクリックし、2番目以降の医薬品名を入力する作業を繰り返します。「医薬品検索」ボックスは開けたままで操作しても問題ありません。

⑥ 4つの医薬品の入力終了したらウェブページの右上（下図の丸で囲った部分）の「相互作用」の文字をクリックします。



⑦ 下図の様に結果が表示され、ワーファリン錠とフロリードゲルが併用禁忌、ワーファリン錠とバイアスピリン錠が併用注意であることがわかりました。

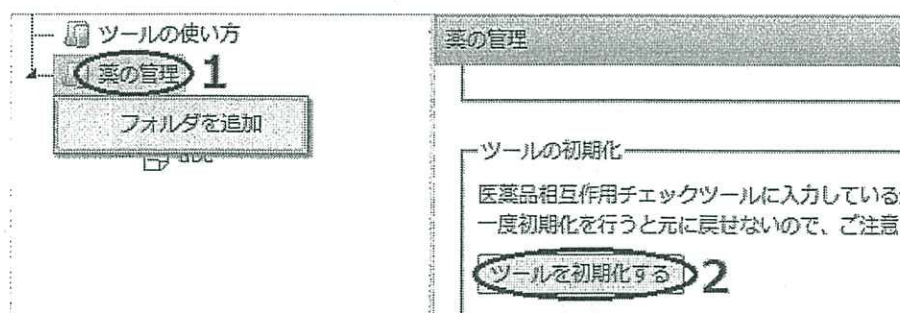
相互作用の確認

ワーファリン錠1mg	フロリードゲル経口用2%	併用禁忌, 併用注意	記載添付文書 (12)
	バイアスピリン錠100mg	併用注意	記載添付文書 (24)
バイアスピリン錠100mg	ワーファリン錠1mg	併用注意	記載添付文書 (24)
センノシド錠12mg 「TCKJ」	相互作用のある医薬品の組み合わせは登録されていません。		
フロリードゲル経口用2%	ワーファリン錠1mg	併用禁忌, 併用注意	記載添付文書 (12)

重複の確認

有効成分の重複情報はありません。

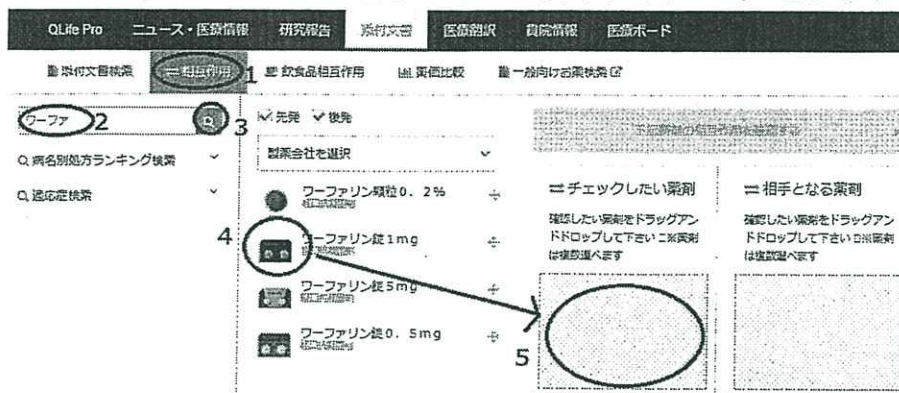
⑧ 以上で、KEGGの「医薬品相互作用チェック」の方法は終了ですが、途中で間違ったり、古いデータを消去したかったりでリセットしたい場合は「薬の管理」フォルダを右クリックし（下図の丸の1）、右側に現れる項目の下部にある「ツールを初期化する」ボタンを押してください（下図の丸の2）。



<QLifeProの「相互作用」の使い方>

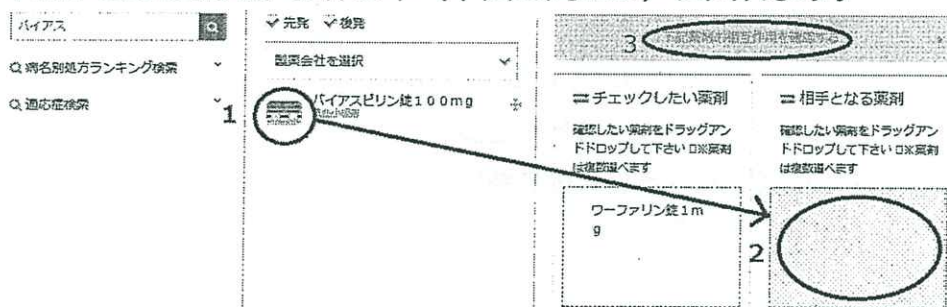
(1) まず QLifePro のホームページ <http://www qlifepro.com/> に行きます。

(2) ページの上部に「QLife Pro」「ニュース・医療情報」「研究報告」といったタグが並んでいますので、この中から「添付文書」のタグ（下図の丸の1）をクリックします。



そこで表示されたページの左上の入力欄（上図の丸の2）ワーファリンの最初の数文字を入力し、検索ボタン（上図の丸の3）を押します。複数の医薬品が表示されるので、その中から目的のワーファリン1mg（上図の丸の4）を選び、ドラッグアンドドロップで「チェックしたい薬剤」の枠の中（上図の丸の5）に入れます。

(3) 上記と同様にバイアスピリン錠を表示させ（下図の丸の1）、ドラッグアンドドロップで今度は「相手となる薬剤」の枠の中（下図の丸の2）に入れます。



最後に「下記薬剤の相互作用を確認する」ボタンを押します（下図の丸の3）。

(4) 下図の様に縦軸方向に「チェックしたい薬剤」枠内の医薬品名が並び、横軸方向に「相手となる薬剤」枠内の医薬品名が並び、その組み合わせの相互作用情報が表示されます。この例ではワーファリン錠とバイアスピリン錠が併用注意であることが分かりました。

QLife Pro		ニュース・医療情報	研究報告	添付
添付文書検索	相互作用	飲食品相互作用		
クリアして薬剤を追加				
		バイアスピリン錠 100mg		
		1		
ワーファリン錠 1mg	1		併用注意	

<出典> KEGG https://www.kegg.jp/kegg/kegg_ja.html

QLifePro <http://www.qlifepro.com/>

薬剤部への問い合わせから

20200506	Q : ラフチジン「トーフ」は水にとけるか。腸痙から投与したい患者がいる	A : 溶けるが、やや時間がかかる。メーカー資料によると、「55℃温水で、5分ではまだ溶けきらず、10分で溶ける」とのこと。 問い合わせ先：東和薬品株式会社
20200506	Q : 当院で使えるガンマグロブリンの製品名は？	A : ポリグロビン N5% 5mg 又は 2.5mg
20200514	Q : 腎臓からの出血止まらない患者がいる。アドナ錠やトランサミン錠は効かない。ビタミンK欠乏も疑われる状況。このような場合に処方できるビタミンK薬はなにか。外来なので経口薬が欲しい。	A : ケーワン錠 5mg。本剤の効能・効果に「ビタミン K 欠乏が推定される出血」の記載有り。用量は通常成人 1日 5~15mg、用法は経口投与。なお服用のタイミング等については規定無し。 参考文献：添付文書
20200514	Q : 止血に用いるビタミン K 剤と、グルケーやケーツ等ビタミン K 剤とで、ビタミン K の種類に違いはあるか？	A : 成人の止血に用いるケーワン錠はビタミン K1、グルケーやケーツ等はビタミン K2 で物質としては異なる。ただし、ビタミン K1 は体内でビタミン K2 になるので、実質的には、どちらも同じ効果を持つはず。これらのビタミン K 剤の適用が異なるのは、たまたま承認時にどのような適用を取ったかということが異なることによる。 問い合わせ先：エーザイ株式会社
20200515	Q : リパクレオン顆粒 300mg は経管投与できるか？	A : 胃痙の患者では経管投与できない。腸痙の患者の場合は文献に実施例があるので、工夫すれば不可能ではない。 メーカーによると「容積 50 mL のシリンジと 8Fr チューブを用い、分包 2 包分を 55℃ 30 mL の温湯で懸濁してみたところ、すぐ顆粒が沈殿してしまい、シリンジ先端やチューブ につまった。 胃痙の患者の場合、本剤は腸溶性で、顆粒を壊すと胃で失活するので、顆粒をさらに

		<p>すりつぶしたり溶解させたりすることはできない。</p> <p>腸瘻の患者の場合、腸内 pH に合わせて顆粒を懸濁溶解したものをを用いて経管投与を行ったという報告がある」とのこと。</p> <p>問い合わせ先：マイラン EPD 合同会社</p>
20200521	<p>Q：腎機能障害のある患者に使える抗ヒスタミン薬は何か？</p>	<p>A：当院採用薬では、アレジオン錠、ザジテン錠など。</p> <p>(追記) 下記参考文献において「腎機能正常者から透析患者まで投与量に変更なし」とされている薬剤の中で当院採用薬は、抗ヒスタミン薬として、レスタミンコーワ錠、アタラックス錠 (添付文書上は慎重投与)、ピレチア錠、</p> <p>第二世代抗ヒスタミン薬として、アレジオン錠 (添付文書には「高齢者は腎機能が低下していることが多く、吸収された本剤は主として腎臓から排泄されるため要観察」との記載あり。)、ザジテン錠、クラリチンレディタブ錠 (添付文書上は慎重投与) がある。</p> <p>参考文献：腎臓病薬物療法専門認定薬剤師テキスト</p>
20200526	<p>Q：带状疱疹に使える内服薬で当院採用のものは何か？</p>	<p>A：バルトレックス錠 500mg</p> <p>(追記) 院外採用としてはアメナリーフ錠 200mg も有り。</p>

20200528	<p>Q : デパケン R (バルプロ酸ナトリウム) 錠とテグレトール錠(カルバマゼピン) を服用している患者がいる。サインバルタカプセル(デュロキセチン塩酸塩) を追加したら、もとの2剤との相互作用はどうか。</p>	<p>A : テグレトール錠とサインバルタカプセルは、相互に中枢神経抑制作用を増強する可能性があるため、併用注意。</p> <p>一方、デパケン R 錠とサインバルタカプセルでは、添付文書上、併用の問題はない。</p> <p>(理由) テグレトール錠はその添付文書から中枢神経抑制作用がある事が読み取れる。サインバルタカプセルの添付文書に「中枢神経抑制剤とは相互に作用を増強することがあるため、併用注意」と記載されている。</p> <p>問い合わせ先 : サンファーマ株式会社 塩野義製薬株式会社</p>
20200528	<p>Q : デパケン R (バルプロ酸ナトリウム) 錠とテグレトール錠(カルバマゼピン) を服用している患者がいる。トラマール OD 錠(トラマドール塩酸塩) を追加したら、もとの2剤との相互作用はどうか。</p>	<p>A : テグレトール錠とトラマール OD 錠は、トラマール OD 錠の作用が減弱することがあるため、併用注意。</p> <p>一方、デパケン R 錠とトラマール OD 錠では、添付文書上、併用上の問題はない。</p> <p>(理由) テグレトール錠とトラマール OD 錠のどちらの添付文書にも「テグレトール錠の代謝酵素誘導作用により、トラマール OD 錠の作用が減弱することがあるため併用注意」という旨の記載がある。</p> <p>参考文献 : 添付文書</p>
20200529	<p>Q : 腎機能の悪い入院患者に CT 検査で造影剤を使ったため、検査後 1.25%炭酸水素ナトリウム注を 150mL/時間で点滴している。どのくらいの時間、点滴を続ければよいか？</p>	<p>A : 4～6 時間程度点滴を続ける。</p> <p>本院の造影剤使用ガイドラインによると、病棟患者で $30 < eGFR \leq 40$ の場合、検査後も、可能であれば、検査前の炭酸水素ナトリウム点滴の速度と同じ速度で、4～6 時間程度、炭酸水素ナトリウムの補液を行う。</p> <p>参考文献 : 米沢市立病院放射線科 造影剤使用ガイドライン 平成 26 年 12 月 22 日版</p>